

事務事業マネジメントシート(平成23年度実績と平成24年度計画)

平成24年 6月26日更新

事務事業名	熊本市圏協議会公共交通作業部会運営事業				<input checked="" type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	1	人々が安全に安心して暮らせるまちづくり		所属部	政策部	課長名 内田 秀一郎
	施策	4	公共交通の充実		所属課	企画課	担当者名 坂田 寛之
基本事業	12	公共交通の利便性の向上		所属班	政策企画班	(内線)	1253
		会計一般	款	項	目	事業連番	法令根拠
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 23年度で終了 <input checked="" type="checkbox"/> 23年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 23 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)	

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	熊本市圏協議会構成14団体で組織する公共交通に関する作業部会の事務局を運営する事業である。平成23年度幹事会において、まちづくり戦略室より公共交通作業部会の設置を提案したことにより始まった事業である。 平成23年度は10月から4回の作業部会を実施し、各団体における地域公共交通や広域的な課題を整理し、次年度の活動計画を策定した。また先進地視察研修を平成24年1月12~13日にかけて鹿児島市と薩摩川内市で実施する予定である。
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	(前年度)年間事業計画の策定、部会開催通知、部会ごとの資料作成と送付、事業計画に基づく作業部会の実施(検討や調査)、都市圏事務局との連絡
【主な予算費目】	予算計上なし
【意見や要望】	特になし
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標	新規・拡充区分:新規
①手段(主な活動)23年度実績(23年度に行った主な活動)(DO)	24年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
平成23年度は10月から4回の作業部会を実施し、各団体における地域公共交通や広域的な課題を整理し、次年度の活動計画を策定した。また先進地視察研修を平成24年1月12~13日にかけて鹿児島市と薩摩川内市で実施する予定である。	・熊本市で現在策定中であるバス路線網再編案について、作業部会において各団体の意見を取りまとめる。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ア:作業部会開催数	→イ: 回 ・予算計上なし
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	②対象指標(対象の大きさを表す指標)
・作業部会	→ア:組織数 (単位) 団体 →イ:
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)
・円滑に運営する。	→ア:円滑に開催できなかった部会の割合 (単位) % →イ:
*③成果指標設定の理由と24年度目標値設定の根拠	
協議会の円滑な運営を目的としているため、円滑な協議会開催ができなかった割合とした。	
総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0	

(2)各指標・総事業費の推移		単位	実績(決算)	実績(決算)	23年度 目標(当初予算)	23年度 実績(決算)	24年度 目標(当初予算)	25年度 予定	26年度 見込	27年度 見込	
①活動指標	ア	回			4	4	5	5	5	5	
	イ										
②対象指標	ア	団体			1	1	1	1	1	1	
	イ										
③成果指標	ア	%			0	0	0	0	0	0	
	イ										
投資 入 費 量	財 源 内 訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	人 件 費	(A)事業費計	千円			0	0	0	0	0	0
		(A)のうち指定経費	千円			0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円			0	0	0	0	0	0
	人 件 費	正規職員従事人数	人			3	2	2	2	2	2
		延べ業務時間	時間			24	100	100	100	100	100
	(B)人件費計	千円			98	403	412	412	412	412	
	トータルコスト(A)+(B)	千円			98	403	412	412	412	412	

事務事業名	熊本都市圏協議会公共交通作業部会運営事業	所属部	政策部	所属課	企画課
-------	----------------------	-----	-----	-----	-----

## 2 評価の部 (SEE)

\*原則は23年度の後評価、ただし複数年度事業は23年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①23年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②24年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 平成24年度は5回の部会開催を予定している。 スケジュールどおりであれば円滑に部会を開催できると見込まれる。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 部会の運営を円滑に行なうための事業であるので、向上の余地はない。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 都市圏市町村が公共交通に関して一堂に会する場はこの作業部会の他にはない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 人件費以外の事業費は発生しない。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 作業部会の開催に係る必要最低限の人員(時間)である。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 都市圏住民がすべて事業対象となっている。
	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 各自治体で実施している公共交通事業の調整や検討を行なう場であるため、民間団体による実施はできない。

## 3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

<p>初年度である平成23年度は円滑に部会を運営できた。 平成24年度は県からも部会員を迎えて部会の活性化を図る。</p>
---

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策</p>																						